

# あらかわ産業ナビ

荒川区  
Vol. 183

令和8年(2026年)  
1月21日

「あらかわ産業ナビ」は荒川区産業経済部が年間6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)発行する産業情報紙です。区内事業者や団体などを対象に7,000部を配布しています。

【日暮里ファッションデザインコンテスト2025】

## 日暮里繊維街で 次世代の才能が輝く

グランプリ(経済産業大臣賞)



ファッション業界を担う才能育成と日暮里繊維街のPRを目的に、区と繊維街が共同開催する「日暮里ファッションデザインコンテスト」。記念すべき20回目を迎えた、今年の公開展示会やファッションショー、表彰式の様子を報告します。

## 受賞14作品が特設ランウェイに集結！

今回の「日暮里ファッションデザインコンテスト」は、20回の記念事業として開催。「ファッション・チャレンジ2025 -The 20th Anniversary Fashion Design-」をテーマに募集し、全国から4,712点の多彩な作品が集まりました。デザイン画の一次審査で入選した40作品は、実際に作品として仕立てられ、令和7年11月12日(水)～17日(月)にふらっとにっぽりの1・2階と大階段にて公開展示。鮮やかな色や素材、縫製の工夫に触れる良い機会となりました。

今回の特別企画として11月19日(水)には、各賞受賞14作品のファッションショーをふらっとにっぽりの3階で開催。特別設置されたランウェイで各作品がモデルの動きとともに華やかに表現され、来場した観客を魅了しました。グランプリ作品に選ばれた中城遥友さんは表彰式で、「支えてくださった先生方や友人、後輩への感謝を胸に、今回の制作経験と、グランプリをいただいた実績を糧に活動を続けていきたいです」と笑顔で今後の抱負を語ってくれました。ファッション業界の未来を担う若者たちの、次のステージでの活躍が楽しみです。

◎日暮里繊維街 山田理事長(中央左)、荒川区 滝口区長(中央右)と受賞者の皆さん



### 日暮里ファッションデザインコンテスト2025 主要3賞受賞者をご紹介します

1 グランプリ(経済産業大臣賞)  
中城 遥友 氏(なかじょう・はると)



自宅でふと「スラッシュキルトと刺繍をつなぎ合わせたら面白いのではないか」とひらめき、配色や刺繍の加工などに苦戦しながら、生地から制作しました。心の内から溢れ出す祝福という温かな感情を、色と技法で表現した作品に仕上がりました。

2 荒川区長賞  
照屋 琉愛空 氏(てるや・るうく)  
遊び心と想像の余白を残し、現代社会に対するパンク精神を表現した作品です。

3 独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長賞  
三苫 心愛 氏(みとま・ここあ)  
花束やガーランドから着想を得た彩り豊かな幸福感に包まれる作品です。



※左が作品で、右が受賞デザイナーです

同時開催 **ハンドメイドWEEK2025 & iDETACHi tokyo OPENDAY**

公開展示会と同時期に、ベビーロック・スタジオ日暮里が主催する「ハンドメイドWEEK2025」と、創業支援施設「イデタチ東京」のクリエイターがポップアップやトークショーを行う「iDETACHi tokyo OPENDAY」を開催。当日は、ハンドメイドを楽しむ人やポップアップに訪れる人でにぎわいました。

ハンドメイドWEEK2025



ミシンを使ったワークショップ

iDETACHi tokyo OPENDAY



クリエイターによる展示・販売会(ポップアップ)

創業支援施設「イデタチ東京」

## 次世代のファッションビジネスを 日暮里繊維街から創り出せ！

ふらっとにっぽり5階の「イデタチ東京」は、創業期の事業者ブランディングや販路拡大などさまざまな経営課題をアドバイスする創業支援施設です。各種イベントや在籍のクリエイターについては、公式サイトで紹介しています。ぜひご覧ください。

問合せ 経営支援課 産業活性化係 (TEL)03-3802-4807 (公式サイト) <https://idetachi.com/>



Hook



野望を、  
着こなせ。



Ren ran

Renran



moco10<sup>-13</sup>



# 出展者募集

## 東京ビッグサイトで製品・技術をPR 「機械要素技術展」共同出展企業を募集



昨年開催の様子

機械要素・加工技術を一堂に集めた国内最大級の見本市「機械要素技術展」の荒川区ブースに共同出展する企業を募集します。海外企業を含め、製造業に関連する多くの方が来場する大規模展示会に出展して、製品・技術を広くPRし、新たな販路の拡大に挑戦してみませんか。出展前に専門家からのアドバイスもあるので、初めての参加でも安心です。

出展期間	7月1日(水)～7月3日(金)
会 場	東京ビッグサイト(江東区有明)
募集企業数	5社(応募多数の場合は、審査により決定)
対 象	次の①～④の要件を満たす中小企業者 ① 本社登記が荒川区にある、または区内に製造拠点があること ② 機械要素・加工技術に関連した事業を営んでいること ③ 直近の事業年度分の法人都民税等を滞納していないこと ④ 展示する製品やサンプルがあり、かつ会期中に接客対応できるスタッフを配置可能なこと
出展スペース等	〔広さ〕1社あたり約9㎡(予定) 〔出展料〕1社あたり14万円
申込期限	2月27日(金)17:00【必着】
申込方法	※下記荒川区ホームページからお申し込みください <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/kikaiyousobosyuu.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/kikaiyousobosyuu.html</a>
問 合 せ	経営支援課 経営支援係 〔TEL〕03-3802-4808

# 協力店募集

## 誘客アップにご活用ください 「観光情報PR協力所」協力店を募集中

区では、荒川区を訪れた方が手軽に観光情報を入手できるよう、区内の商店・飲食店・事業所の皆さんに、観光パンフレットの設置(配布)のご協力をいただいています。誘客アップにもご活用ください。ご応募をお待ちしています。



対 象	区内の商店・飲食店・事業所など
依頼内容	<b>荒川区観光パンフレットの店頭設置</b> ● まちあるきマップ ● 荒川ブランド ● モノづくり見学・体験スポットガイド ● おいでよ! あらかわ など(外国語版マップを含みます) ※ご協力事業者様には、「荒川区観光情報PR協力所」のステッカーと資料スタンドをお渡しします
協力店の周知	荒川区ホームページで協力所の名称や場所などをご紹介 <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/kankoleisure/kankou/kankopr.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/kankoleisure/kankou/kankopr.html</a>
申込み・問合せ	観光振興課 〔TEL〕03-3802-4689 〔e-mail〕 <a href="mailto:kankou@city.arakawa.lg.jp">kankou@city.arakawa.lg.jp</a>

# 広告募集

## 「第40回川の手荒川まつり」 パンフレットへの広告掲載などを募集

4月29日(水・祝)に南千住野球場で開催する「第40回川の手荒川まつり」の「パンフレットに掲載するPR広告」、「会場内移動広告」を募集します。ぜひご応募ください。

### 【1】パンフレットへの広告掲載

体裁/発行部数	タブロイド版フルカラー／13,500部
配布期間・場所	4月中旬～29日(水・祝)／区施設、川の手荒川まつり会場ほか



広告の大きさ	掲載料金
1コマ(縦2.5cm×横6cm)	1万円
2コマ(縦5cm×横6cm)	2万円
3コマ(縦8cm×横6cm)	3万円(表紙面は5万円)
6コマ(縦8cm×横12cm)	5万円
12コマ(縦8cm×横25.5cm)	10万円
24コマ(縦18cm×横25.5cm)	20万円

### 【2】会場内移動広告

広告料	3万円	募 集	7団体(抽選)
-----	-----	-----	---------

会場内の指定場所でチラシやティッシュなどの広告物を来場者に配布できます。

※配布員は2人まで。以降、1人増えるごとに1万円追加。



昨年開催の様子

### 【1】【2】共通事項

申込期限	1月30日(金)【必着】
申込み・問合せ	川の手荒川まつり実行委員会事務局(観光振興課内) 〔TEL〕03-3802-4689 〔FAX〕03-3803-2333 ※詳細は下記荒川区ホームページからご確認ください <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/event/40th_kawanote_koukoku.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/event/40th_kawanote_koukoku.html</a>



# 参加者募集

## Nippori Craft Festival ふらっとにつぼりで「匠の技展 in 日暮里」開催

江戸の技術を現代に伝える伝統工芸の職人や荒川マイスターなどが、ふらっとにつぼりに大集結!

「モノづくりの街あらかわ」を体現する“匠の技”の魅力に触れて、体験、購入することのできる貴重な2日間です。ぜひお越しください。



過去の開催の様子

日 時	2月20日(金)・21日(土) 10:00～15:00(予定)
会 場	ふらっとにつぼり
内 容	① 伝統工芸職人・ara!kawa認定事業者による実演・体験・販売 江戸手描き提灯、木版画彫、つまみかんざし、彫金、鍛金、革製グッズ など ② 三味線演奏会、日本文化体験 三味線のミニ演奏会、着物の着用・写真撮影、茶席(有料) など
問 合 せ	観光振興課 〔TEL〕03-3802-4689 ※詳細は下記荒川区ホームページからご確認ください <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/event/r7-craft-festival.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a022/event/r7-craft-festival.html</a>



## 中小企業制度融資のご案内

### ◎マル経融資の支払利子の半額を補助

マル経融資(小規模事業者経営改善資金)は、商工会議所の推薦に基づき無担保・保証人不要で融資を受けることができる日本政策金融公庫の融資制度です。区内の小規模事業者の皆さんが、マル経融資を利用した場合、支払利子の半額を区が3年間補助します。




対 象	① 荒川区内に1年以上住所または事業所(本店登記)があること ② 区内で引き続き1年以上同一事業を営んでいること ③ 令和7年4月1日以降にマル経融資の申込を行い貸付が実行され、利子を支払っていること ④ 申込日までに納付すべき各種税金を完納していること
補助対象期間	3年間(利子を支払った初回から36回目まで)
補 助 率	支払った利子の50%
申込み・問合せ	東京商工会議所 荒川支部 〔TEL〕03-3803-0538 〔e-mail〕 <a href="mailto:arakawa@tokyo-cci.or.jp">arakawa@tokyo-cci.or.jp</a> ※詳細は下記荒川区ホームページからご確認ください <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/marukeirisihoho.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a021/marukeirisihoho.html</a>



### ◎低利で受けられる制度融資

対 象	荒川区内に住所または事業所がある中小企業者 (東京信用保証協会の保証対象業種であること) 【個人】荒川区に住所または営業の本拠地があること 【法人】荒川区に本店登記があり、かつ営業の本拠地があること		
申込期間	通年	融資限度額	500万円～2,500万円
返済期間	運転資金1年～8年/設備資金1年～10年/運転設備併用資金1年～7年		
利子補給率	0.3%～1.4%(区負担0.5%～1.6%)		
保証料補助	全額補助または1/2補助		
問 合 せ	経営支援課 融資係 (TEL)03-3802-4684 ※詳細は下記荒川区ホームページからご確認ください <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/jigyousha/jigyoununei/kigyoyouushi/index.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/jigyousha/jigyoununei/kigyoyouushi/index.html</a>		





#### ■経済急変対応融資(原油高・物価高騰等対応)【3月31日(火)まで】

融資限度額1,000万円、本人負担金利0.3%。信用保証料全額を区が補助します。

#### ■季節資金融資(年度末資金)【2月27日(金)まで】

融資限度額500万円、本人負担金利0.5%。信用保証料全額を区が補助します。



# 加盟店募集

## 区内共通お買い物券で集客アップ！ 荒川区商店街連合会個人会員募集のご案内

荒川区商店街連合会では、「近隣に加盟する商店街がない」という声にお応えし、加盟商店街がない商店を対象に、荒川区商店街連合会の「個人会員制度」を新設しました。個人会員にご加入いただくと、「荒川区内共通お買い物券」の取扱店として登録でき、集客のきっかけづくりにつながります。ぜひご加入ください！  
※商店街範囲内にある商店は、各商店街にご加入ください。



### 【個人会員加入に関するお問い合わせ】

申込み・問合せ	荒川区商店街連合会事務局（荒川区役所6階） TEL 03-3803-3003 FAX 03-3802-3646 ※詳細は下記のホームページからご確認ください <a href="https://www.j-passage.com/arakawa/index.html">https://www.j-passage.com/arakawa/index.html</a>	
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

# お知らせ

## 福利厚生向上で若手人材にアプローチ 「奨学金返還支援制度」をご活用ください

奨学金返還支援(代理返還)制度とは、独立行政法人日本学生支援機構から貸与奨学金を受けている従業員に対し、企業が返還残額の一部または全額を支援する制度です。



企業としてのメリット	①福利厚生の向上で「若手人材」へアプローチ ②「損金算入」や「賃上げ促進税制」により、法人税などの税額が軽減される可能性あり
問 合 せ	独立行政法人 日本学生支援機構 奨学事業戦略部 奨学事業総務課 TEL 03-6743-6029 (平日9:00~18:00) ※詳細は下記のホームページからご確認ください <a href="https://dairihenkan.jasso.go.jp/">https://dairihenkan.jasso.go.jp/</a>



# お知らせ

## みんなで支えよう！ 育児・介護と仕事の両立支援

従業員は会社の財産であり、未来です。中小企業を含めてすべての事業所は、昨年の法律改正により、育児や介護にかかわる従業員の柔軟な働き方や職場環境の整備に対応する必要があります。ぜひご確認ください。



主な内容	●時間外労働の制限対象が「3歳未満」から「就学前」に拡大 ●子の看護等休暇は、学級閉鎖や入園式などでも取得可能（対象は小3まで） ●子育て・介護との両立に関する制度の個別案内、意向確認が義務化 ●介護休業・両立支援に関する研修の実施、相談窓口の設置が義務化 ●男性育休取得率の公表義務が「300人以上の企業」に拡大
問 合 せ	東京労働局雇用環境・均等部 TEL 03-3512-1611 ※詳細は下記のホームページからご確認ください <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html</a>



# 事業者募集

## 自社商品のPR・販路拡大にご活用ください ふるさと納税「返礼品協力事業者」募集

区では、ふるさと納税制度を活用した寄附の受け入れを実施しており、寄附をいただいた方への返礼品をご提供いただける事業者を募集しています。現在の協力事業者様からは、「新しい顧客層への販路拡大につながった。」「返礼品をきっかけに、遠方からご来店いただきました。」とのうれしいお声が届いています。ぜひご活用ください！



事業者様のメリット	●自社の返礼品をふるさと納税ポータルサイトに無料で掲載可能！ ●自社の製品・サービスを全国に向けてPRでき、販路の拡大へ！
各店でのご対応	① 商品を選定して申請書を提出 ② 返礼品として登録が決定した後、商品画像やPR文を提出 ③ 受注連絡メールが届いたら、商品を発送 ④ 専用システムで発送情報や請求の処理 など
申込み・問合せ	荒川区ふるさと納税サポート室（業務委託事業者：シフトプラス株式会社） TEL 050-5443-0293 [e-mail] support@arakawa.furusato-lg.jp ※返礼品として認定されるためには一定の要件があります ※詳細は下記荒川区ホームページからご確認ください <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a001/seidojourei/seido/furusato_jigyousyabosyu.html">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a001/seidojourei/seido/furusato_jigyousyabosyu.html</a>



# 開催報告

## 荒川区ビジネスプランコンテスト2025 表彰式を開催しました

荒川区ビジネスプランコンテストは、区内での起業や新分野進出を計画する意欲あふれる事業者を発掘し、応援する取り組みです。第7回目は41プランの応募があり、9プランが各賞を受賞。どのプランも、社会的課題の解決や地域経済活性化への貢献が期待できる、魅力的なものでした。受賞したプランは以下のとおりです。



賞	受賞プラン	受賞者・事業所名
最優秀賞 & オーディエンス賞	シニアの困り事ゼロ・自費訪問サービス事業	藤本将和 氏（ふじもと・まさかず） 株式会社Care Light
優秀賞	ロボスポ専用ロボットキットの開発と販売	関根史人 氏（せきね・ふみと） 株式会社ロボットスポーツゲームズ
城北信用金庫賞	地域資源と和食で魅了する新コト消費の事業	砥上友香 氏（とがみ・ゆか） 和株式会社
東京商工会議所 荒川支部会長賞	デジタルオーダーメイド型紙の販売	伊藤智行 氏（いとう・ともゆき） 工房奥谷
奨励賞	荒川遊園で知育ラボ！AIで培う新たな感性	多賀太 氏（たが・ふとし）
奨励賞	荒川区発！科学で変わる街ぐるみ健康革命	天野亜弥子 氏（あまの・あやこ） Earth&Health
奨励賞	荒川区と共創～次世代のイノベーション育成～	矢内篤 氏（やない・あつし）
奨励賞	荒川区で働くひとの心と体を運動で整える	金澤義富 氏（かなざわ・よしとみ）
奨励賞	本と花で拓く商店街の文化拠点	増淵加奈子 氏（ますぶち・かなこ） 暮らしの思想
問 合 せ	経営支援課 産業活性化係 TEL 03-3802-4807	

## 令和7年度 荒川区産業功労者表彰

## 「荒川区健康づくり推進事業所表彰」受賞事業所紹介



区では、区内企業の活性化と人材の定着率向上のため、従業員が健康的に働ける職場づくりを推進しています。その取り組みの一環として、「荒川区健康づくり推進事業所表彰」を今年度から開始しました。令和7年10月28日(火)の荒川区産業功労者表彰式で表彰された7事業所は、右表のとおりです。

※詳しくは下記荒川区ホームページからご確認ください  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a023/seikatsu/shuushoku/kenkou071028.html>



事業所名	事業内容
公益財団法人鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター	義肢装具製作、リハビリテーション
株式会社山鐵	化学工業用機械設計・製作・改造・修理
中山式産業株式会社	医療・健康器具の製造・販売
株式会社古河製作所	精密機械部品加工・NC旋盤・マシニング加工
株式会社熊乃前鋼材	鋼板加工、一般鋼材販売
ひぐらし整形外科内科	整形外科、内科、リハビリテーション
三芳建設株式会社	新築・リフォーム・土地活用・耐震補強



# 令和7年度 荒川区産業功労者表彰

区では産業功労者表彰式を実施し、事業所功労者228人、功労事業所19事業所、健康づくり推進事業所7事業所のほか、荒川マイスター2人を表彰しました。荒川マイスターの表彰者2人を紹介します。



取締役 工場長 中嶋正さん

荒川マイスター表彰 中嶋 正 氏 (株式会社四釜製作所)

## 技術と経験で図面と現場をつなげる

中嶋さんは、曲げ加工や溶接で高い技術を持つ金属加工職人です。幼い頃から工作が得意で、学校卒業後には鉄骨製造会社で半自動溶接に携わって溶接の基礎を身に付けました。その後、塗装工事会社や電機設備会社で営業職などを経験して、四釜製作所に入社。先代社長の「知らない技術はここで覚えれば良い」という言葉を糧に、曲げ加工をはじめとする新たな技術を習得し、日々研鑽を積み重ねています。

金属加工製品は、設計図通りに作っても、現場でうまく収まらないことがあります。中嶋さんは「図面を見れば、金属の特性による膨張や収縮、裏側の配線処理まで想定できるので、改善策を提案して製作に臨みます」と話します。こうした現場を見据えた判断力と工場をまとめる統率力が評価され、約10年前に工場長に就任しました。

四釜製作所は、商業施設や店舗の看板、ディスプレイ、ショーケースなどの金属部分の加工・製作、現場取り付けを行う企業です。オーダーメイドでの確かな製品づくりと素早い対応に定評があり、コーヒーチェーンやアパレルブランド、図書館などへの納入実績も豊富。大手テーマパークのキャラクター型ドアノブや大型看板を手掛けた際は「試行錯誤の末にご納得いただき、やりがいを感じました」と振り返ります。「今後も一つひとつの仕事を大切に、丁寧に取り組んでいきます」と抱負を語ってくれました。



四釜製作所で扱う素材は、鉄やステンレスを中心に、アルミニウムや銅、真鍮など多岐にわたります。素材ごとの特性を理解し、気温や湿度といった日々の条件まで読み取って、溶接や曲げ加工を施します。ばらつきのない高い品質を支えるのは、こうした職人ならではの卓越した技術と経験です。

## 自ら考える「自主自立」の職人を育てる

中嶋さんは、若い世代への指導力に定評があります。昔の職人のように「見て覚えろ」ではなく、自らやって見せて説明し、実際にやる様子を見て指導します。頭ごなしに指示をすると、考え込んで行き詰まることもあるからとのこと。間違えそうな仕事は「〇〇のようなことはやるなよ?！」と冗談めかして先に伝え、「そんなことはしませんよ」という反応を引き出して、自然と注意して取り組めるように配慮。指示されるだけでなく、自ら考えることができる職人の育成に尽力しています。



1 四釜製作所の工場



2 ショップカウンターのフレーム



3 曲げ加工



4 笑顔で取材に応じる中嶋さん

1 本社の一階が工場になっています。高い天井の第二工場にはホストクレーン(天井のレールに沿って動くクレーン)が設置され、搬送用のトラックも出入り可能。2 携帯ショップの接客用カウンターのフレームは出荷先でさらに加工され完成します。3 曲げ加工の様子。板金を上下で挟み機械の圧力で曲げます。平面状の板金は折り曲げることで立体的になります。「曲げ加工は、厚さによって伸び率が違うなど難しい作業ですが好きなんです」と中嶋さん。4 「荒川マイスター」に認定され、娘から「マイスター」と呼ばれて、少し照れくさかったですね。最近は、近所に住む孫たちと一緒に過ごす時間が、何より楽しいんです」と笑顔で話してくれました。

公式サイト



【問合せ】株式会社四釜製作所 (住所)荒川区西尾久7-16-12 (TEL)03-3800-3141 (公式サイト)<https://www.shikama.biz/>



代表取締役 靴職人/アーティスト 三澤則行さん

荒川マイスター表彰 三澤則行 氏 (MISAWA SHOE DESIGN 株式会社)

## 伝統技術とアートを両立する靴職人

三澤さんは、伝統製法でフルオーダーメイドの革靴(ビスポークシューズ)を作る靴職人であり、靴アートを追求するアーティストです。小さな頃から絵が好きで手先も器用。小学生の時には電動クレーンゲーム、中学生で卓球の自動練習機を自作するほどでした。靴職人を志したきっかけは、大学時代に偶然入った靴専門店で革靴の「美しさ」に強く魅かれたこと。卒業後、浅草の専門学校で製靴技術を身に付けて都内の工房へ入り、念願の本格的な革靴作りをスタートさせました。当時を振り返り「初めて仕事で靴を作ったときは、やりたいことを仕事にできて誇らしかったです」と話します。

やがて、自分なりのオリジナリティを追求したいと考えて、オーストリアのウィーンへ。伝統的技法と前衛的デザインをそれぞれの工房で学ぶなか、美術館で美しい革のアート作品と出会い、靴アートの制作に踏み出します。靴職人として研鑽を重ね、ドイツの「国際靴職人技能コンテスト2010」で金メダル・名誉賞を受賞。帰国後は町屋に工房と靴作りの学校を開設しました。2022・2023年には「世界的な靴のデザイン賞」で日本人初、史上初の連続総合優勝を達成。両賞を通じて、技術とデザインの国際的評価を得ました。国内外からの受注や展示会で世界的に活躍するなか、弟子には「好きなことを仕事にできるのは贅沢なこと。感謝の気持ちを忘れてはいけません」と伝えています。



革靴作りには、数百年変わらない伝統的な製法があり、その技術の完璧な習熟が最も重要。中でも「木型制作」が要で、採寸に加え、人物性、用途、デザインを考慮して作る必要があります。三澤さんは、そこにアート制作で得た独自技術を加味して、デザイン性豊かなビスポークシューズを作り上げます。

## 靴作りの技術に裏打ちされたアート

三澤さんの作品は既に世界的に注目されており、ニューヨークやパリなどで個展を成功させています。特徴は、卓越した靴作りの技術を表現の土台としている点。アート制作では、アイデアだけでなく、高い技術力が必要な作品作りにこだわっています。代表作は、革を積み上げた『足の巢』や楽器の美しいフォルムを表現した『ホルン』。コロナ禍に「こんな時こそ、心が踊る作品が必要。生み出せなければ作り手をやめる」と覚悟して作られた『足の巢』は、彼の信念を象徴しています。



「足の巢」(2020)



「MUSIC VI-ホルン」(2025)



1 ウィーンでの修行時代



2 靴の学校での授業風景



3 工房で指導する様子



4 ビスポークシューズ



5 大阪・関西万博での展示

1 修行先は、実用と装飾性の両面の靴文化が交差するウィーンを選びました。2 靴の学校「THE SHOEMAKER'S CLASS」は卒入学のタイミングが自由で、いつでも学びをスタートできるシステム。卒業生にはローマの伝統的な工房に入った方や、京都で工房を開いた外国出身の方もいます。講師活動は海外でも行い、シンガポールでは過去8年間で延べ200人以上に教えました。3 工房でも三澤さんが直接指導にあたります。4 一足一足を丹念に仕立てた、芸術的なデザインと機能美を兼ね備える三澤さんのビスポークシューズ。5 区の助成金も活用し、昨年、大阪・関西万博で「未来の靴のカタチ」と題して作品を展示しました。

公式サイト



【問合せ】MISAWA SHOE DESIGN 株式会社 (住所)荒川区荒川5-46-3 (TEL)03-6807-8839 (公式サイト)<https://www.misawa-and-workshop.com/>

